



～お伝えします！数字でみる昨年度の大蔵村～

# 平成30年度の決算を報告します！

平成30年度決算が9月定例議会で承認されましたので、お知らせします。  
 一般会計の形式収支は1億3,333万8千円となり、令和元年度に繰り越すべき財源7,093万円を差し引きした実質収支は6,240万8千円の黒字となりました。地方交付税は歳入の52.7%を占める20億1,426万6千円となっており、地方交付税に頼らざるを得ない状況にあるため、今後も堅実な財政運営が必要です。

## 語句の説明

- \* **一般会計**：…村の運営の基本的な経費を計上する会計
- \* **特別会計**：…特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理する会計
- \* **村税**：…村民税・固定資産税・軽自動車税・村たばこ税・入湯税
- \* **地方交付税**：…地方公共団体が等しくサービスを提供することができるよう、一定の基準により国から配分されたお金
- \* **地方債**：…村が行う公共事業などの財源として、国などから借りたお金
- \* **国庫支出金**：…村が実施する特定の事業に対し、国から交付されたお金
- \* **義務的経費**：…毎年必ず負担しなければならない経費で職員の人件費や福祉、医療にかかると、地方債の返済など
- \* **投資的経費**：…道路整備や備品の購入、災害復旧等のハード整備に要した経費
- \* **積立金**：…村の貯金である基金への積み立て
- \* **繰出金**：…特別会計の事務事業を補助するため一般会計から特別会計に支出されたお金

## 一般会計地方債の推移

各年度の地方債の推移です。平成30年度発行額は平成29年度の大規模事業完了により減少しています。平成29年度は繰上償還を実施したため、元金償還額は増加していますが、平成30年度においては例年ベースの推移となりました。

(単位：千円)

年度	発行額	元金償還額	年度末現在高
平成26年度	391,900	302,313	3,840,334
平成27年度	432,100	335,442	3,936,992
平成28年度	409,900	384,285	3,962,607
平成29年度	954,600	518,835	4,398,372
平成30年度	445,000	389,397	4,453,975

## 特別会計

特別会計は一般会計と区別し、特定の収入と支出で経理を行う会計です。

(単位：千円)

特別会計の名称	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	490,464	471,347
簡易水道事業	201,768	200,726
特定環境保全公共下水道事業	173,909	173,288
へき地診療所	218,153	211,158
介護保険	458,946	453,305
浄化槽整備事業	25,278	25,039
後期高齢者医療	35,110	35,038
団地造成事業	38,401	38,397
<b>合計</b>	<b>1,642,029</b>	<b>1,608,298</b>

## 歳出の経費区分

義務的経費が平成29年度に比べ10.3%の減となりました。これは平成29年度に銀行からの借入の一部を繰上償還したことによるものです。投資的経費においては、平成29年度で農産物加工施設建設事業や村道合海大坪線道路改良事業の移転補償などの大規模事業が完了したため、41.8%の減となりました。その他の経費はふるさと納税額の減により基金への積立金が38.5%の減となったほか、銅山川水力発電事業出資金の皆減により投資及び出資金・貸付金が69.6%の減となりました。

(単位：千円, %)

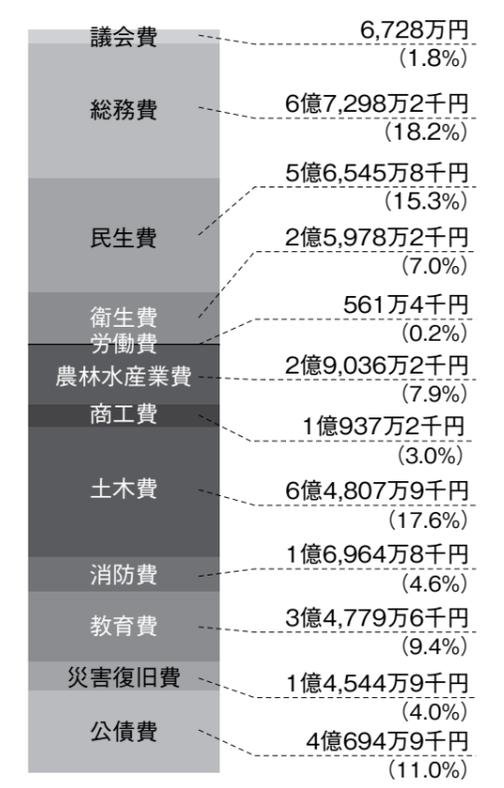
区分	30年度決算額	29年度決算額	増減率
<b>義務的経費</b>	<b>1,294,040</b>	<b>1,442,532</b>	<b>△10.3</b>
人件費	606,469	597,511	1.5
扶助費	280,622	303,656	△7.6
公債費	406,949	541,365	△24.8
<b>投資的経費</b>	<b>665,837</b>	<b>1,144,042</b>	<b>△41.8</b>
普通建設事業	511,907	1,013,160	△49.5
災害復旧事業	153,930	130,882	17.6
<b>その他の経費</b>	<b>1,728,894</b>	<b>1,885,746</b>	<b>△8.3</b>
物件費	560,904	556,035	0.9
補助費等	417,181	389,533	7.1
積立金	114,848	186,737	△38.5
繰出金	380,911	406,401	△6.3
維持補修費	230,050	264,840	△13.1
投資及び出資金・貸付金	25,000	82,200	△69.6
<b>合計</b>	<b>3,688,771</b>	<b>4,472,320</b>	<b>△17.5</b>

## 一般会計 歳出

平成30年度の歳出総額は、平成29年度に比べ7億8,354万9千円の減となりました。

総務費ではふるさと大蔵村応援基金積立金1億3,519万7千円の減により1億640万1千円の減となりました。農林水産業費においては、農産物加工施設建設事業の完了により、3億7,127万3千円の減となりました。土木費においては、降雪量が少なかったことなどから道路除排雪業務委託料の減、村道合海大坪線道路改良事業の移転補償等の終了により、1億3,612万7千円の減となりました。

## 歳出合計 36億8,877万1千円

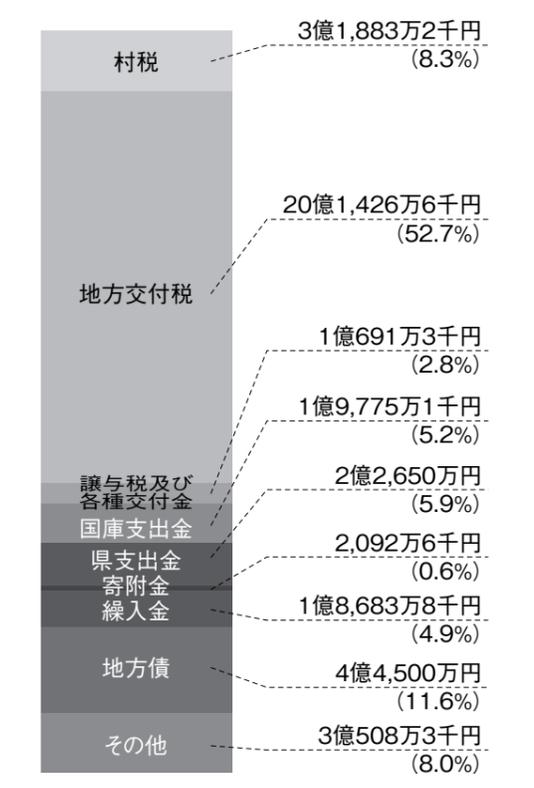


## 一般会計 歳入

平成30年度の歳入総額は、平成29年度に比べ7億7,135万6千円の減となりました。

歳入の約半分を占める地方交付税のうち、普通交付税は3,969万2千円の減となりましたが、特別交付税は災害等の特殊需要の増加により7,298万8千円の増となったため、対前年比3,321万6千円の増となりました。地方債は、農産物加工施設建設事業などの大規模事業が平成29年度で完了したため、5億960万円の大減となりました。また、ふるさと納税が1億3,419万3千円の減となりました。

## 歳入合計 38億2,210万9千円



## 健全化判断比率等

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、毎年度実質的な赤字や将来負担などにかかる指標と特別会計ごとの資金不足比率を議会に報告し、公表することとされています。

財政状況を統一的な指標で明らかにすることで、財政危機の早期発見と健全化を促すため、村の財政状況をお知らせします。

村の財政についてはきわめて健全という結果になっています。

### ■健全化判断比率 (単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
大蔵村(前年度)	—(—)	—(—)	8.1(8.2)	—(—)
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	

※「—」は実質赤字比率や連結実質赤字比率がないこと、将来負担比率がマイナスであることを表しています。

#### (1) 実質赤字比率

一般会計等に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で表しています。実質収支は黒字で、赤字は生じておらず、安心できる状況です。

#### (2) 連結実質赤字比率

全会計に生じている赤字の大きさを財政規模に対する割合で表しています。赤字はなく、安心できる状況です。

#### (3) 実質公債費比率

借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表しています。

#### (4) 将来負担比率

借入金など現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表しています。

### ■資金不足比率

特別会計ごとの資金の不足額が事業規模に対してどの程度あるかを表しています。大蔵村では全ての特別会計で資金不足はなく、財政の健全性を保っています。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
簡易水道事業(前年度)	—(—)	20.0%
特定環境保全公共下水道事業(前年度)	—(—)	
浄化槽整備事業(前年度)	—(—)	
団地造成事業(前年度)	—(—)	

※すべての会計で資金不足比率がないため、「—(該当なし)」で表示しています。

## 基金の現在高

平成30年度末の基金残高は平成29年度に比べ2,171万7千円の減となっています。財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てている基金です。

(単位：千円)

基金の名称	平成30年度末	平成29年度末
財政調整基金	787,531	787,468
減債基金	320,284	269,761
ふるさと創生振興基金	80,000	80,000
地域福祉基金	128,878	128,878
地域振興基金	17,347	17,345
ふるさと活性化事業基金	113,509	123,262
公共施設等整備振興基金	1,361,219	1,318,099
ふるさと農村地域活性化基金	22,227	22,225
ふるさと大蔵村応援基金	0	156,134
国分辰夫教育振興基金	62,234	62,228
国分忠之助教育振興基金	33,552	33,549
後藤榮教育振興基金	36,983	36,980
再生可能エネルギー導入促進事業基金	100,258	100,080
株式会社カドワキ教育振興基金	6,304	6,304
畜産業振興家畜導入事業基金	10,013	10,012
土地開発基金	68,604	68,601
国民健康保険基金	83,763	43,497
介護保険介護給付基金	18,561	8,561
合計	3,251,267	3,272,984

## 活性化施設の決算

### 肘折いでゆ館/カルデラ温泉館 (単位：円)

1 収入の部	61,309,932
・いでゆ館売上高	8,193,256
・カルデラ温泉館売上高	6,987,575
・受託管理収入	23,000,000
・その他(食堂売上ほか)	23,129,101
2 支出の部	67,091,728
・人件費	32,963,402
・売上原価	8,972,912
・水道光熱費	10,942,949
・施設管理費	1,990,100
・その他	12,222,365
3 決算額(経常損失)	△5,781,796